Marix Engineering

mampaey®
OFFSHORE INDUSTRIES

船陸間通信システム

Ship-to-Shore Link (SSL) Systems

船陸間通信システムは、船陸間のESD信号伝送や音声通話、データ伝送に使用され、荷役作業中における安全通信の鍵となる重要なシステムです。

Mampaey社の船陸間通信システムは、LNG荷役における安全通信技術の世界基準に準拠するとともに、SIGTTO規定基準にも準拠して設計・製作されています。

船陸間通信システム
intelligent MULTI SAFETY LINK (iMSL)

Mampaey社の船陸間通信システムは、日本のLNG基地における標準設備である光伝送装置をはじめ、船陸間通信の各種仕様に対応いたします。

また、機器の新規設置の他にも、既設設備への通信仕様の追加等についても、ご要望に応じてご提案いたします。

さらに、陸側設備だけでなく、LNG/LPG船の船用設備の他、LNGバンカリング船・LNG燃料船・FSRU等浮体式設備向けなど各種仕様に対応した設備をご提供いたします。

【対応通信仕様】

◎光ファイバー通信 (Fiber-Optic Link)
◎ニューマティック通信 (Pneumatic Link)
◎SIGTTOタイプ 電気式通信 (SIGTTO Electric Link)
◎宮木電機タイプ 電気式通信 (Miyaki Denki Electric Link)
◎Vantageタイプ 電気式通信 (Pyle-National Electric Link)

株式会社マリックスエンジニアリング
東京都港区西新橋3丁目23番6号 白川ビル5F
TEL: 03-6403-4477 / FAX: 03-6403-4700

記載内容はお断りなく変更することがありますので、ご了承ください。
本書の一部または全部を無断複製することは禁止されています。

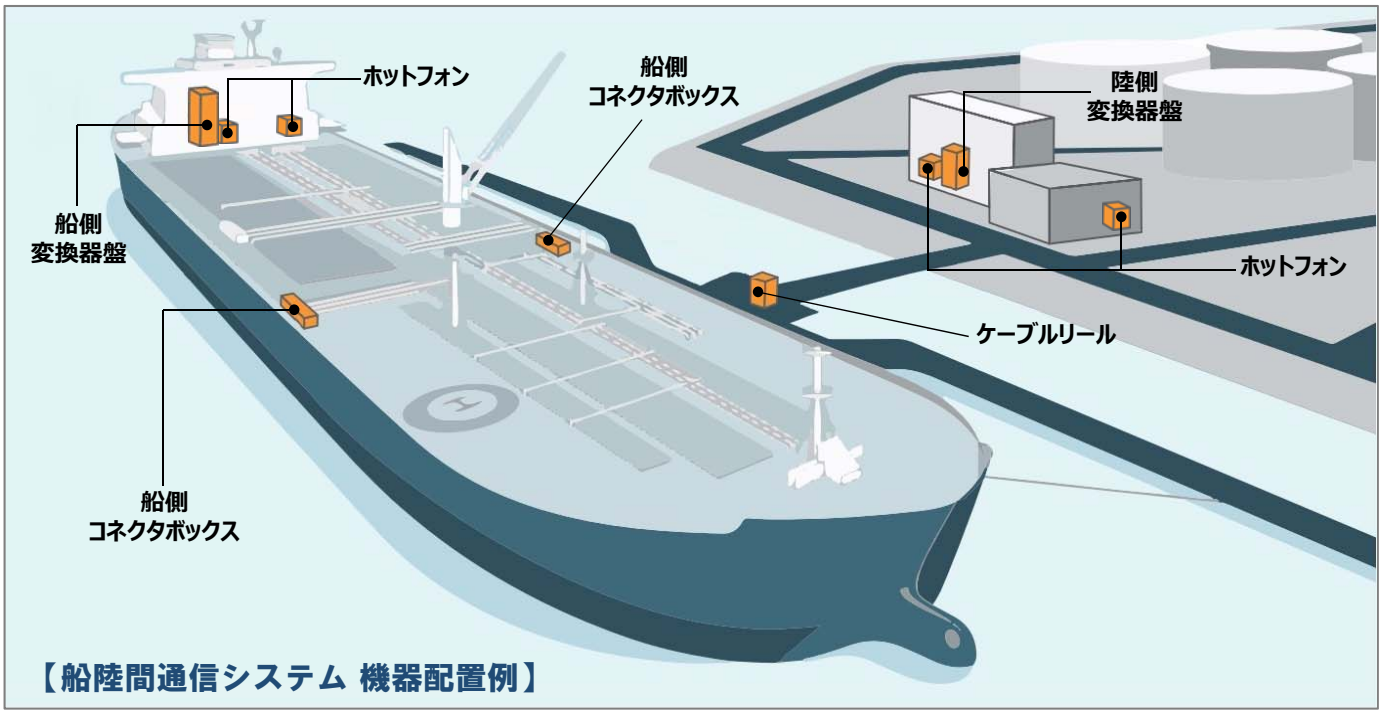
Copyright © Marix Engineering K.K. All Rights Reserved

Marix Engineering

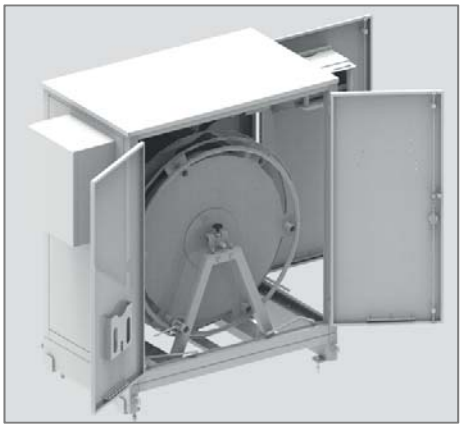
mampaey OFFSHORE INDUSTRIES

Mampaey Offshore Industries B.V.

設立: 1904年、本社: オランダ
世界に先駆けてクイックリリースフックを開発するなど
桟橋係留設備の総合的な開発・設計・製造を手掛ける
世界のリーディングカンパニーです。
過酷な環境にも安全に耐えうる設計と製造が評価され、
その製品は世界各地で使用されています。



【船陸間通信システム 機器配置例】



株式会社マリックスエンジニアリング
東京都港区西新橋3丁目23番6号 白川ビル5F
TEL: 03-6403-4477 / FAX: 03-6403-4700

記載内容はお断りなく変更することがありますので、ご了承ください。
本書の一部または全部を無断複製することは禁止されています。

Copyright © Marix Engineering K.K. All Rights Reserved